

2017年8月21日

民進党代表選挙候補者 各位

男女平等参画に関する質問状

民進党女性議員ネットワーク会議
世話人一同

「女性議員ネットワーク会議」は、2003年に「男女共同参画の実現をめざし、女性議員ゼロをなくそう！女性議員をさらに一人プラスしていこう！」「女性議員一人ひとりが福祉や教育、子育てなどのテーマをもって行動し、分権時代にふさわしい地域行動を巻き起こしていこう！」と呼びかけ、設立されました。これまで毎年、総会・研修会を開催し、積極的な取り組みと活動を通じて、党への政策提言につなげてきました、また、意見書を提出するなど、地方議会において様々な成果をあげてきました。

民進党は、国民と共に進む政党として、真の男女平等社会を実現し、多様性を認め合い、誰もが大切にされる社会づくりをめざす政党であるべきと考えます。今代表選挙に臨まれるにあたり、次期リーダーの考えをお伺いしたく、下記の質問にお答えいただきますようお願いいたします。

なお、回答いただきました内容については、女性議員ネットワーク会議のメーリングリスト等を通じて共有し、9月3日～4日に開催予定の2017年「女性議員ネットワーク会議」総会・研修会において、認識を深めたいと考えております。よろしくお願いいたします。

記

1. 男女平等参画社会の実現について

- ①民進党は、他のどの政党よりも男女平等参画の推進に力点をおいて取り組む政党であるべきだと考えるが、どのように考えているか。
- ②男女平等参画社会を実現していくために、政権を担う政党として、民進党がどの政党よりも男女平等参画の党として、国民のみなさんから信頼され、共に進む政党として、すべての女性が輝き・活躍できる社会づくりの為にどのように取り組もうと考えているか。

2. 女性の力を社会の力に

- ①「2030年までに、あらゆる分野における指導的地位に占める女性の割合30%以上をめざす」ことについて、どのように考えているか。
- ②民進党の国会議員に占める女性議員の割合を高める上で、クオータ制を導入することについて、どのように考えているか。また、地方自治体議員を拡充する上での女性議員の拡大についてどのように考え、どのように取り組むのか。特に、一般市町村議員についてはどう考えるか。

③党本部、ならびに地方組織も含めた役職における女性の比率について、どのように捉えているか。また、今後女性役員比率を高めていくために、どのように取り組むのか。

3. 党の運営について

国民の付託に応え、「国民が主役」であり、「一人ひとりが大切にされる社会」をめざす上で、

- ①地方自治体議員の現場の声、多様な考え意見を大切に集約し国政に反映し、国政で取り組んでいることを地方自治体議員と共有するために、どのような組織体制・運営体制が必要だと考えているか。そのために、どのように取り組むのか。また、民進党女性議員ネットワーク会議へどのような期待があり、存在をどう捉え政策提言をどう反映していくのか。
- ②党本部と都道府県連など各組織との連携も含め、国民に対して「民進党としての統一した行動」がとれる内部統制について、どのように考え、どのように取り組むのか。